

立正大学社会福祉学会ニュース

第 42 号

2023. 3. 20

目 次

総会を開催いたします	1
第 24 回研究大会を終えて	1
第 24 回研究大会研究発表者一覧	2
事務局便り	3

総会を開催いたします

仲春の候、会員みなさまにおかれましては、ますますご清栄のことと存じます。下記の日程で、2023 年度立正大学社会福祉学会総会を開催致します。

日時： 2023 年 5 月 24 日（水）16：30～

会場： 立正大学熊谷校舎 19 号館（アカデミックキューブ）2 階 201 教室

※ 欠席される会員の方は、学会ホームページの各種ダウンロードより、委任状をダウンロードし、必要事項を記入後、社会福祉学会宛に送付してください。

第 24 回研究大会を終えて

昨年 11 月 5 日（土）に研究大会が開催されました。今大会は、3 年ぶりの対面形式での開催となりました。午前 64 名、午後 109 名の参加者がありました。当日は星霜祭もあり学部生の参加者も多くありました。

午前中研究発表と実践報告があり、どの会場にも熱心に議論する会員たちの姿が見られ、会場は熱気にあふれていました。午後は、立正大学名誉教授 稲葉一洋 氏に基調講演をいただきました。「社会福祉学部のあゆみー社会福祉学科を中心にー」をテーマに社会福祉学部の歴史を①社会福祉学部創設以前の歴史、②1996 年の学部創設からの 10 年間、③2006 年度から 2015 年度の 10 年間、④2016 年度からコロナ禍の現在の 4 つに分けお話いただきました。特に、現在の社会福祉学部の前身である立正大学短期大学部が 4 年制大学へ移行する話に触れた際には、多くの方が興味深く聞き入っていました。

基調講演後は、藤高大会準備委員長をコーディネーターとし、「専門職の新たなあり方とその養成」をテーマに3名の報告者によるシンポジウムが行われました。

幼保連携型認定こども園とりやまこども園々長 福島玄 氏からは「こども園で働く専門職をいかに育成するか」、川崎市立旭町小学校教諭 石毛航太 氏からは「専門職の新たなあり方とその養成ーコロナ禍での小学校教育における実践ー」、社会福祉法人 救世軍社会事業団 救世軍自省館（救護施設）支援主任 清水幸雄 氏からは「専門職にいつなるの？」について、自らの経験を踏まえ、専門職養成にかける熱い思いを語っていただきました。現在活躍されている先輩たちのお話ということで学部生も多数参加し、熱心に聞き入っていました。

今回の第25回研究大会も会員各位の貴重な研究成果、実践報告を発表できる場として、またさらなる会員の学び、交流の場となるよう、会員の皆さまからのご発表・ご報告と大会への参加をお願い申し上げます。

＜第24回研究大会発表者一覧＞

1 研究発表Ⅰ

司会：藤高 直之（立正大学社会福祉学部）

司会：加藤 直子（立正大学社会福祉学部）

(1) 「地域活性化におけるデジタルトランスフォーメーションの有効性」

木村 圭一朗（立正大学大学院社会福祉研究科教育福祉学専攻 修士課程 1年）

(2) 「宗教福祉を通じたウェルビーイングについての考察ー寺院の高齢者信者を手掛かりに」

渠 琳琳（立正大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻 修士課程 1年）

(3) 「保育界における育児休業とワーク・ライフ・バランス」

半田 佳織（立正大学大学院社会福祉学研究科教育福祉学専攻 修士課程 2年）

(4) 「インターネット依存とコミュニケーション能力の関係について」

田中 聡（立正大学大学院社会福祉学研究科教育福祉学専攻 修士課程 2年）

(5) 「肢体不自由のある母親は他者との子育ての分有をどのように経験しているのか」

村島 朋恵（立正大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻 修士課程 2年）

(6) 「市町村が構築する包括的な支援体制における官民協働のロジックモデルーエピソード記述によるケーススタディにもとづいてー」

野村 政子（立正大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻 博士後期課程 3年）

2 研究発表Ⅱ

司会：山田 修平（立正大学社会福祉学部）

司会：篠崎 ひかる（立正大学社会福祉学部）

(1) 「埼玉県の地域教材に関するカリキュラム開発（その3）ー第6次産業としての狭山茶づくりー」

石橋 昌雄（立正大学社会福祉学部） 長峰 美樹（本庄市立旭小学校 教諭）

三宅 真白（ふじみ野市立東原小学校 教諭） 松崎 千佳（深谷市立深谷小学校教諭）

- (2) 「小学校1年担任が、直面する指導法の工夫についてースタート期の困難打開に向けてー」
 石橋 昌雄（立正大学社会福祉学部） 原田 碧（羽生市立須影小学校 教諭）
 稲津 望未（加須市立元和小学校 教諭） 上野 柚香（坂戸市立入西小学校 教諭）
 橋本 遥（寄居町立男衾小学校 教諭） 星野 公子（熊谷市立市田小学校 教諭）
- (3) 「保育所における乳幼児の事故とマニュアルの必要性」
 久保田 華代（立正大学大学院社会福祉学研究科 研究生）
- (4) 「保育士養成における保育相談支援科目継続の必要性」
 丸山 アヤ子（立正大学大学院社会福祉学研究科 科目履修）
- (5) 「特別養護老人ホームにおける医療的ケアを要する認知症高齢者介護の実態の調査研究ー参与観察とインタビューを通してー」
 片山 茂夫（立正大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻 博士後期課程 3年）

3 実践報告

- 司会：村尾 泰弘（立正大学社会福祉学部）
 司会：白井 健次（立正大学社会福祉学部）
- (1) 「にじいろ保育園松原における子どもの主体性を大事にした保育の実践」
 宮崎 孝志（にじいろ保育園松原 保育士）
- (2) 「むつみ荘における少年指導員の実践」
 今井 聡子（母子生活支援施設むつみ荘 少年指導員）
- (3) 「練馬区立北大泉幼稚園における実践報告」
 岡島 梨央（練馬区立北大泉幼稚園 教諭）
- (4) 「深谷市立深谷小学校における実践報告」
 松崎 千佳（深谷市立深谷小学校 教諭）
- (5) 「埼玉県立上尾特別支援学校における教育実践（知的障害教育部門中学部）」
 峯島 樹生（埼玉県立上尾特別支援学校 教諭）

・・・・・・・・・・ **事務局便り** ・・・・・・・・・・

＜学会ホームページの開設に伴う「学会ニュースの電子化」について＞

「学会ニュース」の電子化（ホームページ上での掲載）を行います。この電子化に伴い、本号以降はホームページ上での掲載のみとなりますので、ご承知おきください。

＜第25回研究大会（2023年度）のご案内＞

詳細については、新年度に入ってから改めてホームページ上でご案内いたします。

＜学会誌『立正社会福祉研究』の原稿募集＞

立正大学社会福祉学会では、学会誌を発行しています。日頃の研究、実践の成果をまとめた論文をぜひ投稿してください。次回、第25巻の投稿締切りは、6月30日、発行は11月です。詳しい投稿規程については、『立正大学社会福祉研究』あるいは立正大学社会福祉学会ホームページの各種ダウンロードをご覧ください。また、投稿の際は、各種ダウンロードより、投稿申込書をダウンロードし、必要事項を記入後、論文に添えて社会

福祉学会宛にご投函ください。メールでの提出の場合は、投稿申込書を本文に書き添えてください。社会福祉学会の住所及びメールアドレスは、下記枠内をご覧ください。

論文のほか、活動・実践報告、図書紹介、資料などの投稿も合わせて募集しています。普通会员、学生会員問わず、多くの皆さまからの投稿をお待ちしています。

なお、学会誌のオンライン化を図ってきました。既に過去の学会誌は、立正大学図書館の立正大学学術機関リポジトリに収録されています。今後は、そちらでご覧いただき、冊子媒体の会員への配布は行いませんのでご承知おきください。

＜学会誌優秀論文賞・研究助成金の募集について＞

学会には、「学会誌優秀論文賞」と「研究助成金」の2つの研究奨励制度があります。

「学会誌優秀論文賞」は、学会誌に投稿された論文の中から優秀と認められるものに授与されます。日ごろの研究成果を学会誌に投稿し、優秀論文賞の受賞を目指してみませんか。また、「研究助成金」については、研究題目、研究目的、研究計画等を記入した所定の申請書を提出した者の中から、特に意欲的に研究に取り組んでいると認められる者に研究助成金を授与する制度です。

2つの研究奨励制度は、学生会員・普通会员が対象となります。募集要項については、立正大学社会福祉学会ホームページの各種ダウンロードに掲載されていますのでご覧ください。

なお、「研究助成金」の締切は5月末日です。皆様からの応募をお待ちしています。

＜会員異動のご連絡について＞

会員の皆様につきまして、住所やご所属の異動がございましたら、メール、faxにより学会事務局まで連絡をお願いいたします。

連絡先：立正大学社会福祉学会事務局

e-mail：2016welfare@ris.ac.jp f a x：048-536-2522

＜会費納入のお願い＞

郵便振替にて今年度会費の納入をお願いします。

年会費は3,000円です。

(郵便振替) 00110-0-159111

立正大学社会福祉学会

立正大学社会福祉学会ニュース／第42号

編集発行：立正大学社会福祉学会

〒360-0194 熊谷市万吉1700

立正大学社会福祉学部内

TEL 048-536-1328 FAX 048-536-2522

e-mail 2016welfare@ris.ac.jp

発行日 2023年3月20日